7　芸術（美術）

学校番号	１００８

令和３年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年前期
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	ワークプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・視て感じる、感じて創ることを基本に踏まえるべき手段を経て徐々に個のものとなっていく過程を実感します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩・構成などについて着目して、感じ方や見方、表現を深めていきましょう。様々な表現や感じたことを共有すると、更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	オリエンテーション	・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・クロッキー	○ ○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	イニシャルデザイン	・色彩構成 絵の具で着色する。 イニシャルのアルファベットそれぞれのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・相互鑑賞	○	○	○		a:自己のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	図書館探訪	・図書館の使い方を学ぶ ・一冊の本(画集等)の中から作品を選び模写、作者、技法、社会的背景等について調べる ・相互鑑賞・プレゼンテージョン(全体)	○			○	a:表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	学習活動の様子 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート

	心に残る風景を描く	・キャンバスボードに水彩絵の具にメディウムを加え風景をえがく ・自分でとってきた写真またはスケッチを元に下書きし彩色する。	○	○	○		a：身近な四季にふさわしい表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら、表現したりしようとしている。 b：条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c：メディウムの特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	展覧会に行こう	・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 高校展 美術館での展覧会 常設　特別展等	○			○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	鑑賞ワークシート
	こころを贈ろう	・カード鑑賞 ・ポップアップの技法を学び、カード作りをする。 ・様々な紙の特性を知る。 ・贈る気持ちが相手に伝わるよう色、材質、サプライズ表現を工夫する。 ・プレゼンテーションをして班の代表を決め、全体鑑賞をする。	○	○	○	○	a：贈る気持ちが相手に伝わるように表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b：感性や想像力を働かせて、自己の内面や相互関係の中で感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c：意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d：他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

	ボールペンぐるぐる	・パターンデザイン 白黒ボールペンを用いて模様を描く。 ・構成等を工夫して表現する。	○	○	○	○	a:表現することに関心を持ち主体的に活動している。 b:パターンが生み出す規則性と変化に着目し表現の構想を練っている。 c:集中して丁寧な表現を心がけている。 d:相互鑑賞	制作の様子 作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。